

岡山大学構内遺跡調査研究年報18

2000年度

2001年10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

岡山大学構内遺跡調査研究年報18

2000年度

2001年10月

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

序

2000年度における当センターの事業は、発掘調査としては、津島地区の総合研究棟新営工事および鹿田地区の医学部附属病院エネルギーセンターに伴う発掘調査が中心となりました。調査面積は前者が約1350平方メートル、後者が約1900平方メートルで、本年度もひきつづき発掘作業優先の体制で事業を進めました。これまでの発掘調査結果を報告書にまとめる作業がはかどらず、報告書を刊行するまでにいたらなかったのは遺憾でしたが、年報やセンター報などは定期刊行を実現することができました。また、秋に第4回目となる「岡山大学キャンパス発掘成果展」を開催したところ、本学内外から多数の来場者があり、好評を得ました。

エネルギーセンターの調査区は、弥生時代から古墳時代への移行期の文化層と中世の文化層が主体となっていました。すぐ北側の病棟建設地でおこなった発掘調査内容とも関連するようであり、今後、両者を一体としてその歴史的な意義を追求していく必要があると思われます。

津島地区の調査では、縄文時代後期にさかのぼる河道を確認しました。河道は、津島地区の他の旧河道と同じく、北東から南西への流れを示していました。したがって自然の流路の可能性が高いのですが、その西岸において長さ数十メートルにもおよぶと推定される杭列を調査できたことは、特筆すべき成果でした。水稻農耕が普及した弥生時代以降ではこの種の護岸施設は各地において見られるところですが、水田遺構がまだ確認されていない縄文時代後期にどのような役割を果たした施設であったのか、この時期における農耕の有無ともかかわって、今後の重要な研究課題になりそうです。

また2000年度においては、本センターの理念・目的、調査・研究、管理・運営等について自己評価を行い、あわせて外部評価を受けました。外部評価委員を快くお引き受けくださった岡山県教育委員会文化課長松井英治氏、岡山県古代吉備文化財センター所長正岡睦夫氏、岡山市教育委員会文化課長出宮徳尚氏に厚くお礼申し上げます。外部評価の結果も踏まえ、文化財の保護をめぐる本学と地域関係機関との連携がいっそう進むことを希望しています。

発掘調査や室内作業の実施にあたっては、いつもながら事務局および関係部局から多くのご支援・ご協力をいただきました。各機関・各位にあらためてお礼申し上げます。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター長

稲 田 孝 司

例 言

- 1 本報告は岡山大学埋蔵文化財調査研究センターが岡山大学構内において2000年4月1日から2001年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、および活動成果をまとめたものである。
- 2 大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、設定基準を次のように定めた。
 - 1) 津島地区では、国土座標第Ⅴ座標系($X=-144,500\text{m}$, $Y=-37,000\text{m}$)を起点とし、真北を基軸とした構内座標を設定した。一辺50mの方形区画である。また同地区では調査の便宜上、大きく津島北地区と同南地区に二分する(図1)。
 - 2) 鹿田地区では、国土座標第Ⅴ座標系($X=-149,800\text{m}$, $Y=-37,400\text{m}$)を起点とし、座標軸を $N-15^{\circ}-E$ に振ったものを基軸とした構内座標を設定した。地区割は一辺5mの方形を基準として用いており、図で示す場合は一辺10m四方の方形地区割りを用いている。
 - 3) 本文中で用いる方位は、津島地区・鹿田地区は真北を、他は磁北を用いている。
- 3 岡山大学構内の遺跡の名称は、周知の遺跡の場合はそのまま踏襲する。津島地区構内については、全域を「津島岡大遺跡」と総称する。三朝地区の発掘調査地点は小字名をとり「福呂遺跡」と呼称する。他地区は任意の名称で仮称する。
- 4 調査名称は、「発掘調査」に分類したものについては、各遺跡毎に調査順に従って次数番号で呼称し、「試掘・確認調査」「立会調査」に分類したものについては、任意の名称を用いる。発掘調査のうち、小規模で、確認調査から連続して調査したものは、「試掘・確認調査」に分類する。なお、試掘・確認調査は昨年度まで「試掘調査」としていたが、今年度から名称を変更することとする。
- 5 「発掘調査」についての記述は現段階における概要であり、詳細は正式報告によって頂きたい。「試掘・確認調査」については、本年報での記述を正式報告にかえる。
- 6 表に記載した所属部は、原則として各学部の頭文字を略号として用いている。
- 7 附表2-(2)に掲載する調査一覧については、中世層まで掘削したものを対象とし、その他については除外した。未掲載のデータについては、当センターにおいて管理している。
- 8 本文・目次・挿図・写真などで使用の調査番号は表1と一致する。
- 9 本文は高田浩司・野崎貴博・山本悦世・横田美香が分担執筆し、執筆者名を末尾に記した。
- 10 編集は稲田孝司センター長の指導のもとに、高田浩司が担当した。
- 11 本年報に掲載の地形図は、すべて国土地理院発行の1/25,000「岡山北部」を複写したものである。

岡山大学構内遺跡調査研究年報18 2000年度

目 次

第1章 2000年度岡山大学構内遺跡調査報告	1
第1節 調査の概要	1
第2節 発掘調査	8
1 津島地区	8
(1) 津島岡大遺跡第23・24・25次調査〈総合研究棟，総合研究棟渡り廊下，農学部 圃場散水設備（ポンプ槽）〉	8
(2) 津島岡大遺跡第26次調査〈事務局〉	18
2 鹿田地区	19
(1) 鹿田遺跡第12次調査〈エネルギーセンター〉	19
第3節 試掘・確認調査	26
1 津島岡大遺跡における縄文～弥生時代の環境復元に伴う試掘・確認調査	26
2 津島地区事務局本館他予定地試掘・確認調査	32
第4節 立会調査	34
1 津島地区	34
2 鹿田地区	34
第2章 2000年度普及・研究・資料整理活動	38
1 資料整理	38
2 刊行物	38
3 展示会	38
4 調査員の活動	40
5 日誌抄	42
6 2000年までの遺物保管状況	43
7 遺物の保存処理	44
8 資料の活用状況	45
第3章 岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	46
第1節 岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの内部規則・規程	46
1 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規則	46

2 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会管理規程	47
3 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会規程	48
第2節 2000年度埋蔵文化財調査研究センター組織	49
1 センター組織一覧	49
2 運営委員会	49
3 自己評価委員会	50
第3節 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター関係委員会報告	50
1 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会報告	50
自己評価報告	50
外部評価報告	60
2 岡山大学における教員の任期に関する規則	66
3 岡山大学構内遺跡の発掘調査にかかわる安全管理事項	67
第4章 2000年度業務のまとめ	69

挿 図 目 次

図1 津島地区全体図	3
図2 今年度の調査地点【1】津島地区	5-6
図3 今年度の調査地点【2】鹿田地区	7
図4 第23・24・25次調査地点位置図	8
図5 第23・24・25次調査地点土層断面図	10
図6 第23・24・25次調査地点の位置と想定される河道流路（縄文時代後期）	13
図7 縄文時代後期の河道と検出遺構平面図（第23次調査地点）	14
図8 弥生土器 壺（第23次調査）	15
図9 弥生時代前期の河道と検出遺構平面図（第23次調査地点）	15
図10 石棒（第23次調査）	16
図11 縄文時代後期河道内杭列平面図（第24次調査）	16
図12 縄文時代後期の遺構と河道平面図（第24次調査）	16
図13 中・近世の溝と杭平面図（第25次調査）	17
図14 第26次調査地点位置図	18
図15 鹿田遺跡発掘調査地点位置図	19
図16 鹿田遺跡第12次調査土層断面図	21

図17	近世の遺構全体図	22
図18	鹿田遺跡第12次調査地点周辺中世遺構全体図	23
図19	第12次調査地点周辺弥生～古墳時代遺構全体図	25
図20	試掘・確認調査地点	27
図21	土層断面図	28
図22	調査地点位置図	33
図23	土層断面図	33
図24	調査47地点位置図	34
図25	調査区割りと河道推定図	35
図26	①区間土層断面図	35
図27	④区間土層断面図	35
図28	遺物実測図（1）	36
図29	遺物実測図（2）	37
図30	遺物実測図（3）	37
図31	見学者の内訳	38
図32	展示会の状況	39
図33	1999年度までの調査地点【1】津島地区	83-84
図34	1999年度までの調査地点【2】鹿田地区	85
図35	1999年度までの調査地点【3】三朝地区	86

表 目 次

表 1	2000年度調査一覧	1
表 2	埋蔵文化財調査研究センター収蔵遺物一覧	43
表 3	第4期木器処理工程	45
附表 1	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）	70
附表 2	1999年度以前の構内主要調査（1983～1999年度）	71
附表 2 - (1)	発掘調査	71
附表 2 - (2)	試掘・確認調査	73
附表 2 - (3)	立会調査	76
附表 3	埋蔵文化財調査室刊行物	81
附表 4	埋蔵文化財調査研究センター刊行物	81